

●環境教育・国際協力・海外調査 (3-I-13-1～3-I-14-1)

本セッションでは、海外(アジア)での調査結果や国際協力にあたって事前の調査方法についての報告、河川の経済的評価に関する報告が行われた。

3-I-13-1 は、国際的に問題となっている海洋ゴミについて、海岸漂着ごみクリーンアップ調査として実施している団体に所属している発表者が、初めて中国の NGO の協力を得て調査した報告であり、本調査によって参加者の環境保護意識向上につながったとの貴重寝結果を得ている。

3-I-13-2 は、モンゴルの遊牧地域の飲用にする井戸・湧水・河川水併せて 80 地点の水質調査を行っている。南部ゴビ砂漠と北部ステップ、森林地域では水質が大きく違っており、今後気候や井戸の深さ、地理的条件等を踏まえた詳細な調査による原因究明に期待したい。

3-I-13-3 及び 3-I-13-4 は、途上国への国際協力にあたって、実際に現場での仕事にとりかかる前に実施した調査の報告である。3-I-13-3 は、ベトナムハノイ市でのリン収支について一行政単位の 177 世帯へのアンケート調査、文献調査により現状把握、将来予測を行っている。また、3-I-13-4 は、途上国数カ国で汚水管理の改善に取り組むにあたって、事前に現地の人とのディスカッションを行い現地の社会状況、インフラ状況、水質状況など現状を把握し、その現状を現地の人々がどのように思っているのかを事前に知ること、国際協力を効率よく進める前の第一歩にしようとするもので、両発表とも真に実効性のある国際協力を進めるために是非実施して欲しいと思われる貴重な報告である。

3-I-14-1 は、中国河北省秦淮川の水システムとサービスについて水供給やレクリエーションなど直接的な価値と水資源の貯留、洪水調節などの間接的な価値とに分け、財政上の価値の評価をし、さらに効率のよい計画についての提言を行っている。今後、評価方法などアセスメントシステムの選択・構築など問題点の解決に期待したい。

((財)北九州上下水道協会 原口 公子)